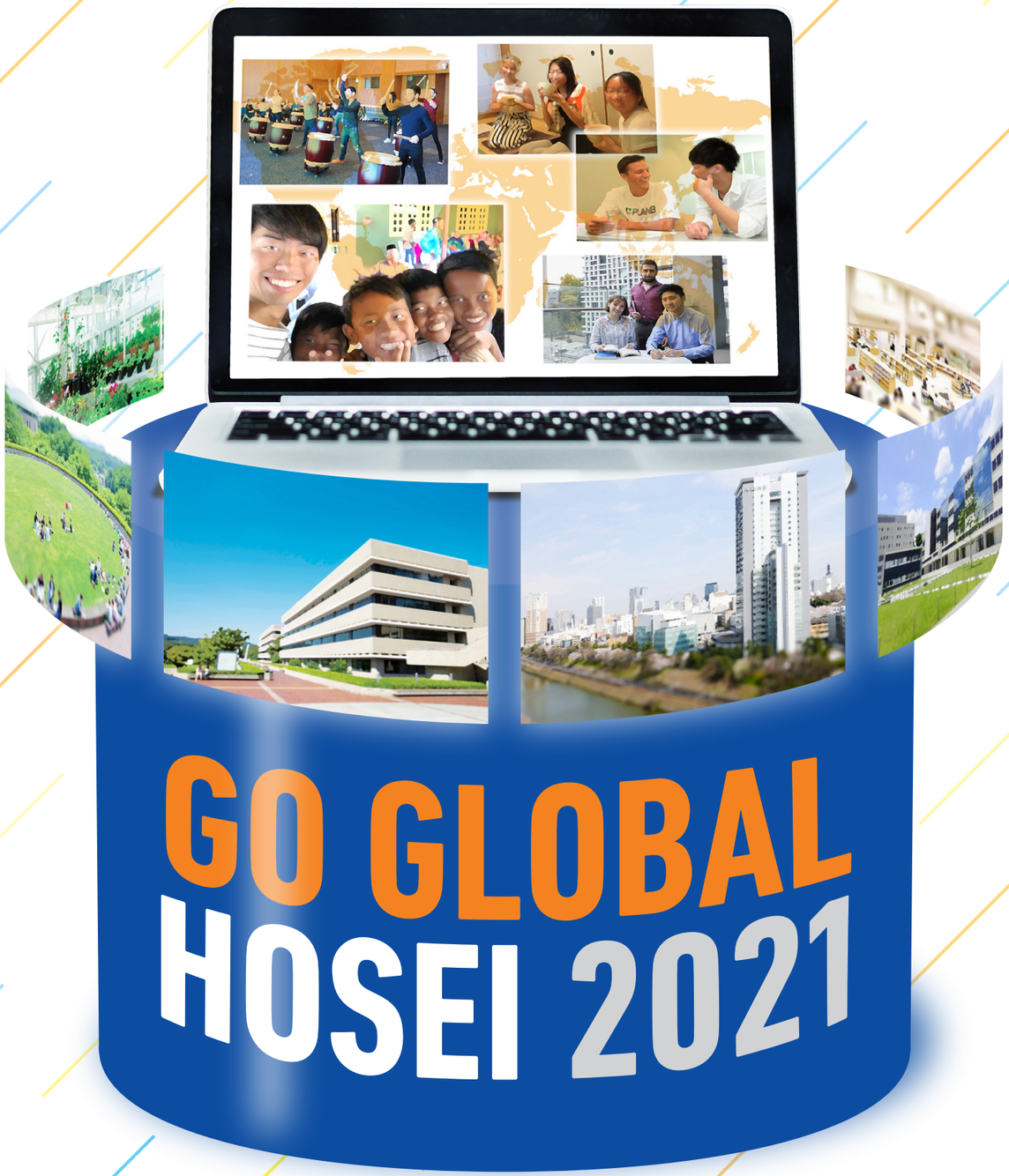
HOSEI
SINCE1880

法政大学 グローバル教育センター事務部

〒102-8160　東京都千代田区富士見2-17-1
TEL : 03-3264-4088　E-mail : globaledu@hosei.ac.jp
https://www.global.hosei.ac.jp/

2021年3月発行

TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN



# GO GLOBAL HOSEI 2021

法政大学
HOSEI University

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

## スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

2020年、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、
社会や経済に大きなダメージを与えました。

大学教育にも大きな影響があり、
特に、日本を含めた各国の入国制限等によって多国間の移動が不可能となり、
従来の国際プログラムの実施は難しくなりました。

そんな困難な状況下においても、
本学は引き続き「グローバル化」を進めるため、
オンラインを活用した“新しい国際プログラム”をいち早く構築し、
学生にさまざまな国際教育の場を提供しています。

本冊子では、本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
変化を恐れず、常に挑戦し続ける本学の国際プログラムの一部を紹介します。

INDEX


巻頭…… 01〜02
法政大学のグローバル化へのビジョン…… 03〜04
グローバル人材育成のイメージ…… 05〜06
語学教育プログラム…… 07〜08
外国人留学生の受入れ…… 09〜10
学生の海外派遣…… 11〜14
海外交流協定大学…… 15〜16



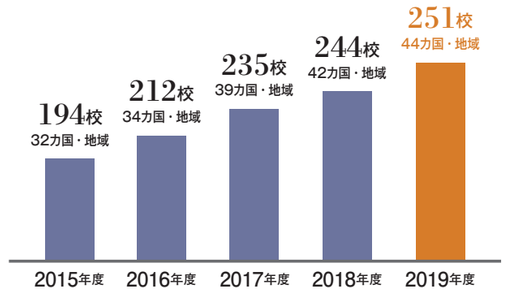

法政大学　総長
廣瀬 克哉

本学は2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、2021年度で8年目を迎えます。海外協定校数の増加や奨学金制度の制定、英語で学位を取得できるコースの新設など、より多くの学生がグローバルな経験を得られるよう環境を整えてきました。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって国境を越えた人の移動は難しくなりましたが、オンラインの普及などにより、これまでとは違う交流の可能性が現実のものとなりました。新たな方法が拓くグローバルな学習機会は従来以上に多くの学生が参加可能なものです。制約のある状況だからこそ、学生それぞれが可能な方法を見つけだし、学習を続けていくことは、まさに法政大学憲章の掲げる「自由を生き抜く実践知」つまり、それぞれが生きる現実の中で、自由を生き抜くことを理解し、その実現のために課題解決を続ける知性を体現しています。これからも本学はスーパーグローバル大学構想や法政大学憲章等に基づき、さらに進化し続けていきます。

本学では、大学間の交流促進のため、現在45の国や地域、255大学・機関と協定を締結しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって、留学生の受け入れ・送り出しが困難となりましたが、本学の外国人留学生数は2019年度までの過去5年間で472名増加し、海外留学者数は590名増加しました。また、英語で開講されている科目数は、2020年度時点で680科目にのぼり、国境を越えた国際交流だけでなく、キャンパス内の国際化を推進しています。

### ● 協定校数および協定国・地域数の推移

※学術一般協定・学生交換協定・研究者交換協定・スタディ・アブロードプログラム協定・大学院での各種箇所間協定等を締結している大学・機関の合計



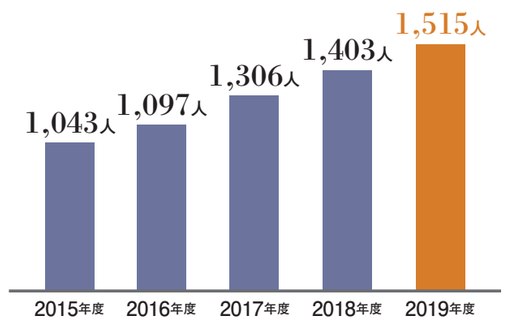

### ● 英語で開講されている科目数

※ERP科目、グローバル・オープン科目、ESOP科目、英語学位プログラム科目の合計

2020年度 680 科目

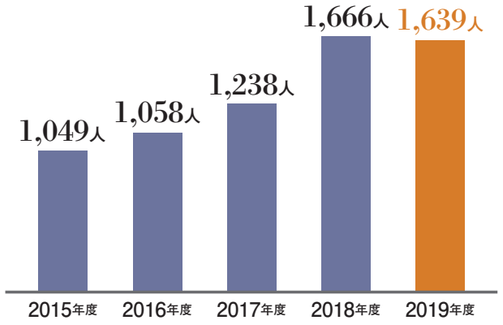
### ● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、短期受入れプログラムの合計




### ●海外留学者数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP・海外ボランティア・インターンシップの合計



# 法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、
自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成を目指して、グローバル化を推進しています。

数値目標　2023年の法政大学

## グローバル化対応・体制の構築

●総長のリーダーシップ　●長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定　●ICT基盤とIR機能の強化充実

## 課題解決先進国日本から
## サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題　etc.

▶

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の
課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に
資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITY を目指します。

## 日本の知見を世界へ
## 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

### 法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロントランナーを育成する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル化社会への発信力の強化

3 サステイナブルなグローバル社会の基礎づくりに向けた中等教育支援

4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし

5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定ができる体制の構築

### 大学理念

「自由と進歩」の精神で
なにごとにも絶えず挑戦し、
新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かな
リーダー育成、最先端を行く
高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、
持続可能な地球社会の
構築に貢献する

| 受入れ留学生 | 海外留学（単位取得） | 海外協定校 | 連携高校（国内・海外） | グローバルアクティビティ体験率 |
|---|---|---|---|---|
| 3,000人 | 1,500人 | 250校 | 110校 | 100% |

| 英語による学位取得 | 外国人等教員（外国での教員研究歴のある日本人を含む） | 外国語による授業 | CEFR B1取得（TOEFL ITP® 500点相当） | 社会人の学びなおしプログラム |
|---|---|---|---|---|
| 7コース | 60% | 10% | 48.1% | 1,200人 |

# グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、
持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成を目指します。
実践的な語学教育、学内外での国際交流、
海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

## 1年次

### 語学力と異文化理解力を養成

- ERP（英語強化プログラム） P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P13へ
- 短期語学研修 P12へ

## 2年次

### 語学力を生かして専門知識を習得

- ESOP（交換留学生受入れプログラム）科目 P9へ
- 学部教育課程における海外留学 P13へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

## 3年次

### 学んだ知識を海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P11へ

## 4年次

### グローバル社会で生きる力へ！

- 国際インターンシップ P13へ
- 国際キャリア支援プログラム P14へ

国際機関への就職・活躍

海外大学院

- Gラウンジ P8へ
- HUBs、Jラウンジ P10へ
- スピーチコンテスト P10へ

留学生と交流する

45の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、
国際理解を深めていきます。

## ERP（英語強化プログラム）などを受講 P7へ

市ケ谷、多摩、小金井の全キャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP（英語強化プログラム）」を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。

## グローバル・オープン科目などを履修 P8へ

グローバル・オープン科目やESOP（交換留学生受入れプログラム）の科目を受講することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。

## Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ（Global Lounge）」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。

## 留学生と交流する P10へ

法政大学には多くの外国人留学生が在籍しています。GラウンジやJラウンジなどで積極的に外国人留学生と交流することで、学内にいながらにしてグローバルな視点を養うことができます。

## 派遣留学などに参加 P11へ

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。

## 国際ボランティア・インターンシップに参加 P13へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。

## 国際キャリア支援プログラムに参加 P14へ

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。

# 語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、
日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。
気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、
語学スキルを養成するプログラム、
英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、
1年次から4年次にかけて徐々に
ステップアップしていくことができます。

## ERP（英語強化プログラム）

### English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成、およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高いすべての学部・研究科の学生を対象に開講しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全ての授業をオンラインに切り替えて実施しました。

**■ERP科目例**

| レベル | 開講科目 |
|---|---|
| CE1 | Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II |
| | Writing & Discussion: Intermediate I,II |
| CE2 | Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II |
| | Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II |
| CE3 | Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II |
| | Writing & Discussion: Advanced I,II |

＊英語スコアによってレベル分けを行っています。

**1** listening speaking reading writing
4技能統合型のカリキュラム

**2** 外国人講師による指導
実践的な英語力の養成

**3** 少人数授業
1クラス15名程度の双方向授業

さらに詳しい情報は▶

https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/

## グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。ERPなどにより一定以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるグローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。（一部科目において履修に英語力基準を設けている場合があります。）2020年度は全185科目が開講されており、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部科目を除いてオンラインにて実施されました。

**■2020年度秋学期　開講科目例**

| 領域 | 科目名 |
|---|---|
| （1）ビジネス&マネジメント | Introduction to Strategic Management, Business Communication, Business and Society, Global Human Resources Management etc. |
| （2）ビジネス&エコノミクス | Practice of Environmental Economics and Japan, Business Communication II B, Sports Consumer Behavior, Practical Economics B, Japan and ASEAN Economy B etc. |
| （3）国際関係 | Fieldwork for SDGs, Social Science A, Approaches to Transnational History, International Society and Environmental Issues, Global Society 1 etc. |
| （4）社会と文化 | Religion and Society, Design Basics in English, Art, Rebellion and Advertising, Research Methods 1, Race, Class and Gender I: Concepts & Issues etc. |
| （5）実践英語 | Foreign Language Exercise (English V), Multicultural Translation through English Ⅱ, English Academic Writing II, English Presentation II etc. |
| （6）科学・技術 | Ubiquitous Computing, Introduction to Biology and Chemistry for Sustainability I, Environmental Science, Probability Models and Applications etc. |

## TOEFL®・TOEIC®講座

春学期・秋学期中に受講できる有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®iBT講座と、2レベルで展開するTOEIC®L&R講座があります。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全10回（週1回クラス）の集中授業をオンラインにて実施しました。

## Gラウンジ　Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため閉室としましたが、オンライン上で英語学習アドバイザーとの英会話の機会を設けるなど、継続的な英語学習支援の場を提供しました。英語に苦手意識のある学生を対象にした初心者向け「Step-up Island」や、新入生対象の時間も設け、幅広く英語に親しめる環境を用意しています。

## Every Day 英会話 ~ Four Seasons English ~

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。一日40分×全100回の講座で、正課授業の空き時間を活用して、楽しく受講できます。ネイティブスピーカー講師が少人数グループのレッスンを担当します。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、期間を短縮し、オンラインで実施しました。

## TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC®IPを年1回、全キャンパスで実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにて実施した結果、より多くの学生へ受験機会を提供することができました。

# 外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、キャンパスのさらなるグローバル化を目指しています。
また、学生が国内で国際交流できる機会を提供するため、受け入れた留学生や海外大学との交流を実施しています。

## 外国人留学生（正規留学生受入れ）

大学・大学院合わせて1,010人の留学生が学位取得を目指して、日本人学生と共に勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えています。
留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金の紹介、日本での就職を目指す留学生に向けた企業説明会等も積極的に実施しています。2020年度は留学生が各種申請や説明会等への参加を安心して行えるよう、オンライン環境の整備を行いました。ほとんどの授業がオンラインで行われましたが、「自分のペースで勉強できた」「復習がしやすくなり、成績が上がった」といった声が寄せられました。また、入試の一部もオンラインで実施し、入国できない受験生にも受験の機会を提供しました。

## 日本語教育プログラム（JLP）

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。学生の日本語力に合わせたレベル別授業を展開し、特に上級クラスの学生には、進学・キャリアに役立つ「ブリッジングコース」を充実させています。また2020年度は新型コロナウイルス感染症対策として全ての授業をオンラインに切り替えました。すでに日本にいる留学生だけでなく、渡日できなかった学生も海外からオンラインで授業に参加し、日本語学習を継続しています。

## ESOP（交換留学生受入れプログラム）

海外の協定校から、半年から1年間の交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいながら留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。
2020年度は春学期100名、秋学期116名の留学生が渡日する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により春学期38名、秋学期18名の受入れとなりました。入国制限により渡日できない留学生に対しても、オンラインによる授業を提供し、出身国から授業を履修する形で受け入れることができました。留学生の渡日には2週間の隔離や公共交通手段の利用禁止など多くの厳しい条件が設けられていましたが、グローバル教育センターが全面的にサポートおよび手配を行うことで無事に渡日することができました。授業評価アンケートには、「オンライン授業についても資料の共有方法が工夫されているなど効果的な学習ができた」といった声が寄せられました。

### Voice

高校生の頃、自分の国で当たり前のように両親と暮らし、毎日お小遣いを頂いていることから自立したいと思い日本への留学を決めました。初めはやはり異国での一人暮らしと日本語での授業にすごく戸惑いがありました。身の回りのことに気を使いながら大学の授業を受け、さらにアルバイトも加わることによって大変さは2倍も3倍も増していました。しかし、このような状況でもまた新たな知識や文化、友人を得られることに喜びを感じていました。そして留学生活で得た最も大きな学びは「自分が得意としていることを全面的に生かす」ことでした。これによって私は新しい経験や親しい友人ができ、私自身が他の人のモチベーションになることもできました。今では日本生活にも慣れ、留学以前から「世界中の人々と共に働きたい」という思いを就職活動にぶつけ、無事日本での就職が決まりました。インフラの一つである物流会社で、世界中にモノを届け、受け取り、現代の生活では欠かせない役割を果たす働きをすることになっています。今後はさらに多くの国と国の間をつなぐ橋のような存在になれるよう頑張りたいです。

**ニプトゥ デシユニタさん**（写真右から2番目）
外国人留学生（インドネシア共和国）
経済学部　国際経済学科　4年生

※写真は2年次のもの



## HUBs (Hosei University Buddy system)

HUBsは、来日して間もない交換留学生のために、空港・寮の出迎え、大学施設案内、口座開設などさまざまな活動を通じて留学をサポートするボランティアです。来日直後だけではなく継続して各種支援を行うことで、留学生が充実した生活を送れるようにサポートします。
この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけではなく、留学生の視点で日本を見つめ直すことができ、よりグローバルな視野を身に付けることで、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることができます。
2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により本来のスケジュールは全て中止となりましたが、代わりに各バディーがオンラインを通じて履修登録、役所での手続き、日本での生活など留学生のさまざまな悩みについて相談に乗ることでサポートを行いました。履修や生活のサポートだけでなく、留学生と本学学生が親睦を深める機会にもなりました。渡日できなかった留学生についてもバディを紹介し、積極的に文化交流を行える機会を提供しました。

## Jラウンジ

Jラウンジは、日本語を学ぶ留学生が授業外で日本人学生と交流し、生きた日本語を学び・使う交流スペースです。運営は日本人学生スタッフがボランティアで行い、お昼休みや授業の空き時間を利用して開室しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のためZoomで水曜日・金曜日の2限～お昼休みに実施し、「日本語」でのおしゃべりを通して、お互いの国や文化について交流を深めました。

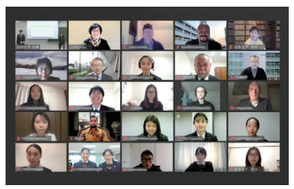
## スピーチコンテスト

### 第6回法政大学日本語スピーチコンテスト（ベトナム）
### （主催：法政大学　共催：ハノイ国家大学外国語大学）

ベトナム全国の11高校・14大学からの応募者282名のうち、予選を通過した18名が「ベトナムについて一番伝えたいこと」をテーマにハノイ（ベトナム）の決勝会場でスピーチを行いました。2015年度に開始し、在ベトナム日本国大使館等が後援するこのコンテストにはこれまで延べ985名の高校生・大学生が参加しました。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、本学の審査員は日本からオンラインで審査を行いました。

## 総長杯英語プレゼンテーション大会

本学付属校（法政高校・法政第二高校・法政国際高校）の生徒を対象に、自分の考えを英語で発表する機会を設けるため、英語プレゼンテーション大会を開催しています。本大会は、2016年度に開始し、これまで延べ70名の付属校生が参加しました。2020年度の第5回では「社会の様々な課題を『なんとか解決したい』とあれこれ考える―私にとっての実践知―」をテーマに、合計9組11名の付属校生が英語でプレゼンテーションを行い、大学教員、付属校教員、本学の外国人留学生がオンラインにて審査を行いました。



## オンライン国際交流イベント

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した国際交流の機会を補完するため、2020年度は協定校をはじめとした14校の海外大学と、オンラインを利用した学生交流イベントを約30回にわたって開催し、本学からは合計200名以上の学生が参加しました。2020年度はアジアの海外大学を中心に、ヨーロッパや中米の大学と交流会を実施しました。日本語だけでなく英語を活用して実施した交流会もあり、自国文化の紹介など身の回りの話題から、「コロナ禍で考えたこと」などの社会的な課題まで、さまざまなテーマで意見を交換しました。交流会に参加した学生からは、「異文化理解を深める良い機会になった」といった声が寄せられ、交流会に参加した双方の学生にとって、語学学習にとどまらない、新しい学びや気付きのある有意義な機会となりました。

# 学生の海外派遣

学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて
広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。
また、多様な留学体験を学生の将来につなげるキャリア支援プログラムを実施しています。
2021年度には、低学年の学生を対象に新たな留学に対する奨学金制度を開始します。

## 派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界22カ国・地域、64大学の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。奨学金は、国・地域ごとに100万円または70万円（半期留学の場合は半額）支給され、このうち20万円は本学後援会より支援を受けています。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全ての協定校への渡航が中止となり、多くの派遣留学生が留学時期の延期などを余儀なくされました。そのような中、交換留学生に対しオンライン授業の提供を行う大学もあり、22大学でオンライン授業を履修する形での留学を実現しました。オンライン留学は、現地との時差や通信トラブルなどオンラインならではの問題はありますが、費用面の軽減負担や就職活動と両立できるなどのメリットがあります。また、現地学生によるバディ制度やオンライン交流プログラムを実施している協定校もあり、現地学生や他国の留学生と交流できる機会が提供されています。

オンライン留学を経験した派遣留学生は、開始当初は慣れない環境に不安を抱えていましたが、学期末の頃には充実した経験であったと満足している様子でした。

## 認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」（30万円）、「後援会認定海外留学奨学金」（10万円）、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」（25～50万円）等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校（アメリカ）、オーストラリア・カソリック大学やボンド大学（オーストラリア）での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての認定海外留学が中止となりました。

### Voice オンライン留学

コロナのせいで、現地に行けないことを知ったときは落ち込みました。不安は数多くありましたが、せっかくつかんだチャンスを捨てるのはもったいないと感じ、オンラインでの留学を決意しました。大変だったというのが正直な感想です。イギリスとの時差の影響で深夜に授業があるし、現地の文化を感じることは無いし、友達作りも難しいです。日本でアルバイトや就職活動も行っていたため、想像とは全く異なる留学生活になりました。これを読むと、オンライン留学なんて価値がないと思われそうですが、そんなことはありません。授業の内容そのものはとても充実しています。先生方は、メールや授業後の相談に親身にのってくれるし、講義の録音が全てアップされるため復習もしやすいです。私は、グループプレゼンテーションを一緒に行ったエクアドルの友達と、お互いの期末レポートを添削し合うなど、オンラインでも質の高い学びを得ることができました。今や、現地に行くだけが留学ではありません。ポストコロナの時代、皆さんもオンライン留学を検討してみてはいかがでしょうか。

**横溝伶音さん**
2020年度ニューカッスル大学（イギリス）
派遣留学生／国際文化学部国際文化学科

### Voice オンライン留学

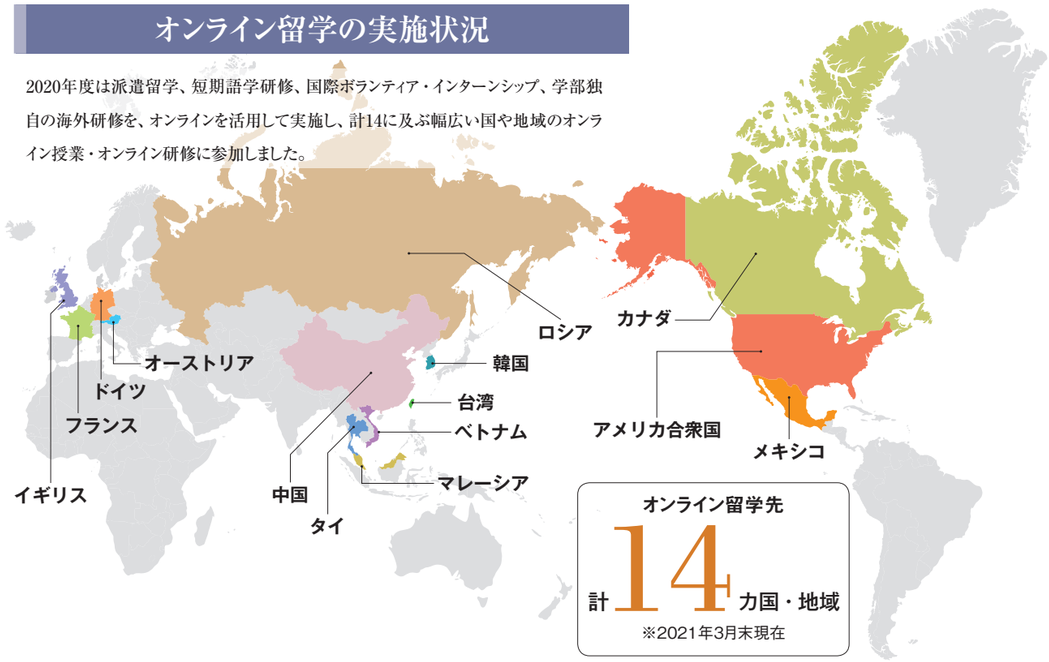
私がオンライン留学を決めた理由は今あるチャンスを逃さずにできることをやろうと考えたからです。私は、語学と一般の授業を両方受けていたのですが、オンラインであってもディスカッション、プレゼンテーションそしてライティング等のアウトプットがしっかりできたということが新しい発見でした。少しでも現地で受けている環境を作るために教材をデジタルではなく実際の本を入手したり、積極的に先生に質問や添削をお願いしていました。このようにオンラインでの留学を通して主体性を身に付けることができたと感じています。また今回の派遣留学を振り返ると、日本にいながらも自分の学びたかったことを学べ、多様な価値観を持つ方達とつながることができたと感じています。オンライン留学について悩むこともあるとは思いますが、実際に行く場合と同様に自分の受け止め方や行動次第で充実させることができます。きっと特別な経験になるはずなので是非挑戦してみてください！

**黒岩理愛さん**
2020年度梨花女子大学（韓国）派遣留学生
国際文化学部国際文化学科



## オンライン留学の実施状況

2020年度は派遣留学、短期語学研修、国際ボランティア・インターンシップ、学部独自の海外研修を、オンラインを活用して実施し、計14に及ぶ幅広い国や地域のオンライン授業・オンライン研修に参加しました。




## 短期語学研修制度

夏休みと春休みの2～4週間程度、語学力の向上を目指して、マレーシア・アメリカ・カナダ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語・夏季のみ）、フランス（フランス語）の各協定大学で実施する留学制度です。研修は各協定大学付属の語学機関にて行われます。学部や学年、語学レベルや学業成績にかかわらず、全ての学部生が応募可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者まで幅広く対応しており、初めて海外に行く方や、将来長期留学を考えている方にも適した制度です。また、課外活動や文化体験を通じて、留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては、所定の要件を満たすことで単位の認定も可能です。

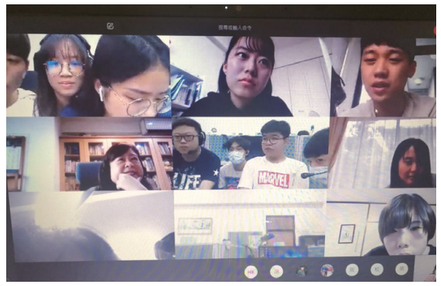
2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季プログラムは中止としましたが、春季プログラムでは、各協定校（韓国を除く）の提供するオンラインプログラムにて実施し、多くの学生が参加しました。また、オンラインプログラム受講時においても、渡航プログラムと同様に単位の認定を行いました。現地に渡航することはできませんでしたが、参加学生からは「実際に現地に行って学習しているような感覚を得ることができた」「語学を学習できただけでなく、研修先の文化や暮らしにも触れることができた」といった声が寄せられました。

### Voice オンライン留学

私は3年生の夏休みに中国への短期語学研修に参加するつもりでしたが、コロナ禍により不可能になり意気消沈していました。そんな時に、グローバル教育センターからのメールで研修先が提供しているオンラインでの短期語学研修プログラムの存在を知り、北京語言大学での約4週間の授業に申し込みました。自分で外国送金をしたり、中国のSNSアプリを使用する必要があり、受講前に頓挫しかけましたが、グローバル教育センター職員の方々のおかげで手続きを終えることができました。オンライン授業でしたが、研修先の先生方は熱血指導で画面越しながら中国語教育への熱い思いが伝わり、緊張感のある授業でした。他国の学生とも討論で意見を交換し、考え方や物の捉え方など多様性が感じられました。直接会ってはいませんが、クラス内で一体感も生まれました。中国語力が鍛えられ、国際交流もできた4週間でした。ニューノーマルな時代に北京語言大学のオンライン授業を受けられたことは、人生の財産になりました。関わってくださった方々に感謝しています。ありがとうございました。

**長谷川亜沙さん**
2020年度夏季短期語学研修協定校オンラインプログラム参加
経営学部　経営学科3年生（参加当時）

## 学部独自の留学・海外研修制度



14学部において、各学部のカリキュラムに合わせた独自のスタディ・アブロード（SA）・プログラムや海外研修プログラムがあります。2020年度はキャリアデザイン学部のキャリア体験学習（国際・台湾）と文学部の国際哲学特講を、オンラインを活用し実施しました。

キャリア体験学習（国際・台湾）は、春学期に日本で、現地研修を行う上で必要な知識や言語などについて学習した上で、夏休みの2週間、現地にて、現地企業での研修や元智大学（台湾）の学生との交流などを行います。また、秋学期には、現地で学んだことを授業内で共有し振り返りを行います。2020年度は現地での学生交流や企業研修の代わりに、元智大学学生との交流や現地企業へのインタビューを、オンラインで実施しました。現地を訪問することはできませんでしたが、オンラインによる現地の大学生や現地企業とのコミュニケーションを通して、台湾の歴史や文化、台湾と日本との関わりなどについて学習することができました。秋学期には、台北駐日経済文化代表処や台湾文化センターなど国内の台湾に関連した機関・施設を訪問し、異文化に直接触れ国際性を身に付けました。

国際哲学特講は、年度初における共通テーマの設定から始めて、ハイデルベルク大学（ドイツ）、ストラスブール大学（フランス）と共同運営されている秋学期授業です。2月上旬に行われる3大学合同ゼミを目標に、それぞれの大学では秋学期に準備の授業を進めます。通常は2月上旬ヨーロッパで行われる合同授業を、2020年度は現地で行うことができず、合同ゼミをはじめ1週間の交流事業の全てをオンラインで実施しました。それを見越して、秋学期準備授業の大部分をオンライン合同で行いましたが、そのことで交流の面で例年にない成果を収めました。

## 国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。派遣先の環境問題に取り組む活動や、経済的なハンデを持った学生の英語学習支援活動などを行う「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季（8～9月）および春季（2～3月）休暇中の2週間～4週間です。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により夏季プログラムは中止としましたが、春季プログラムは「国際ボランティア」、「国際インターンシップ」ともにオンラインに切り替えて実施しました。

### 2020年度 春季 国際ボランティア／国際インターンシップ募集プログラム

**・ベトナムでの環境問題/学習支援活動（オンライン）**

現地NPO監修のもと、ベトナムの学生と協働して効果的なゴミ収集システムを提案するプログラムや、英語学習を支援するプログラムに参加します。本プログラム開始前にチームビルディング講習などボランティアで活動するために必要な知識を学ぶ事前講習もあり、プログラム以降も生かせるスキルが身に付きます。

**・ベトナム現地企業での実務研修（オンライン）**

参加学生の希望に応じてさまざまな企業を選び、実際の業務に携わることができます。またプログラム中には別途、今後のキャリアを考えるセミナーなどにも参加するので、将来を見据えた就業体験を積むことができます。

**Voice**

将来は海外で働きたいというビジョンがあり、グローバル教育センターが主催している国際インターンシップへの参加を決めました。勤務先はベトナムのダナンにある旅行会社を選び、約3週間のインターンシップを通じて、日本人観光客向けの旅行プランを作成しました。

プログラム全体を通じて、自分が最も重要だと感じたことは「積極的に相手を理解しようとする姿勢」です。現地のベトナム人スタッフと仕事をするにあたり、最初は文化や言語の壁があり、苦労をしました。しかし、自分から積極的に相手を知りたいという姿勢を見せることで、次第に相手も心を開いてくれ、円滑なコミュニケーションが取れるようになりました。海外で働くうえで、言語能力は大切な要素かもしれませんが、こういった気持ちの部分も実は大切だということに気付くことができました。皆さんも積極的に新しいことにチャレンジしてみてください。

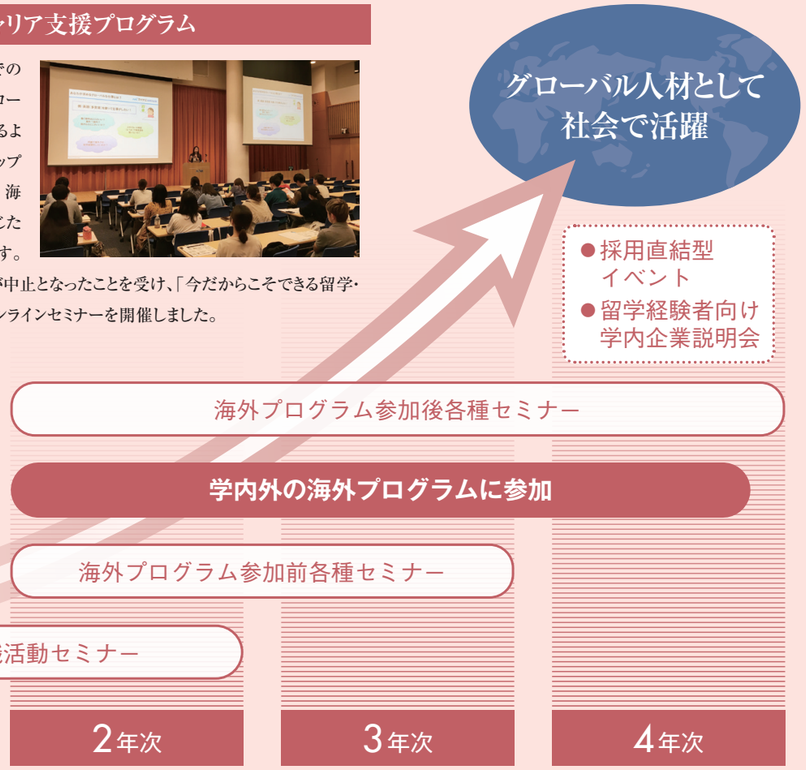
**押田　悠希さん（写真右）**

2019年度夏季国際インターンシップ（FPT大学・ベトナム）参加
法学部　国際政治学科　3年生（参加当時）



## 国際キャリア支援プログラム

学生が留学等の海外プログラムでの経験を将来のキャリアにつなげ、グローバルに活躍する人材へと成長できるよう、さまざまなセミナーやワークショップを実施しています。2019年度より、海外プログラム参加前後に時期に応じた段階的なプログラムを構成しています。2020年度は多くの海外プログラムが中止となったことを受け、「今だからこそできる留学・就職活動への準備」をテーマにオンラインセミナーを開催しました。




2020年度は、国際キャリア支援プログラムの一環として、キャリアセンターと合同で「海外留学と就職活動の両立」と題したイベントをオンライン形式で開催しました。

イベントの前半では、（1）海外勤務経験のある本学職員から聞くグローバルに活躍するために必要な条件、（2）グローバル教育センターが提供しているオンライン海外留学プログラム（派遣留学、国際ボランティア・インターンシッププログラムなど）、（3）最新の就職活動状況と将来予測、（4）海外留学と就職活動の両立についての4つの項目の説明を行いました。

イベントの後半では、参加者が抱える不安や悩みを全員で共有し、解消することを目的に、丁寧に時間をかけて、質問に対応しました。

参加者からは「オンライン海外留学の存在を知らなかったので、良い機会になった」、「海外留学経験をどう就活に生かせば良いか勉強になった」、「コロナを理由に何もできないと決めつけていたが、できることを見つけ、挑戦する姿勢が大事だと思った」など好意的な意見が多数寄せられました。

## 海外留学ファースト・チャレンジ奨励金

学生が入学後、早期から自主的に海外留学・海外研修活動に挑戦することを奨励し、その後のさらなる国際交流活動を動機づけるため、2021年度より「海外留学ファースト・チャレンジ奨励金」制度を新設します。

本奨励金は、夏季・冬季・春季休業期間中に実施される、学外機関主催・提供の海外留学・海外研修プログラムのうち所定の要件を満たしたものに参加・修了した学部1～2年生に対し、選考の上支給するものです。また、新型コロナウイルス感染症の影響により海外への渡航が困難な現状を踏まえ、オンライン形式のプログラムも支援の対象としています。

なお、本奨励金は、国際化サポートを使途として寄付いただいた「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の一部を財源としております。

給付額 5 万円

採用人数 各年度 40 名程度

# 海外交流協定大学

● 派遣留学　● 短期語学研修　● SA※

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界45カ国・地域において、255大学・機関（2021年2月末現在）との間で
学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流協定大学 **255** ※2021年2月末現在　45カ国・地域 大学・機関

## イギリス *United Kingdom*
ロンドン大学ロイヤル ホロウエイカレッジ
シェフィールド大学●●
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学●●
ニューカッスル・アポン・タイン大学●
サセックス大学●
ブラッドフォード大学●
ヨーク大学
ロンドン大学バークベック●
ウルヴァーハンプトン大学

## アイルランド *Ireland*
ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン●
リムリック大学●

## フランス *France*
リヨン第三大学●
西部カトリック大学●●
パリ大学●
ヴェルサイユ大学理工学部●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学●
キャンパスフランス●
サンジェルマン・アン・レー政治学院●
ISG

## スペイン *Spain*
バルセロナ大学●
ラモン・リュイ財団
ビック大学●
コルドバ大学●
EUSS

## ドイツ *Germany*
フンボルト大学
オルデンブルク大学
ロイファナ-リューネブルク大学
ベルリン国際応用科学大学
バーデン=ヴェルテンベルク・デュアルシステム大学●
ブレーメン大学●
シュトゥットガルト工科大学●
ブレーマーハーフェン応用科学大学

## オランダ *Netherlands*
NHLステンデン応用科学大学●

## スイス連邦 *Switzerland*
スイス連邦工科大学チューリッヒ校
サンクトガレン大学●●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門

## スウェーデン *Sweden*
ブレーキンゲ工科大学●

## デンマーク *Denmark*
ロスキレ大学
オールボー大学●

## イタリア *Italy*
カルロ・カッターネオ大学●
ヴェネツィア大学●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学

## チェコ *Czech*
チェコ工科大学●

## オーストリア *Austria*
ウィーン大学●●

## ハンガリー *Hungary*
コルヴィナス大学（旧：ブダペスト経済大学）

## ルーマニア *Romania*
バベシュ・ボヤイ大学

## ポーランド *Poland*
社会科学大学
コズミンスキー大学

## アルバニア *Albania*
ティラナ工科大学

## セルビア *Serbia*
ニシュ大学

## ブルキナファソ *Burkina Faso*
ワガ第一ジョセフ・キ・ゼルボ大学

## エチオピア *Ethiopia*
メケレ大学

## アルジェリア *Algeria*
アルジェ大学

## コートジボワール *Ivory Coast*
フェリックス・ウフエ・ボアニ大学

## ケニア *Kenya*
カラティナ大学

## ロシア *Russia*
ロシア科学アカデミー東洋学研究所
モスクワ国立大学●
サンクトペテルブルク国立大学●●
ペテルブルク国立交通工科大学●
国立研究大学高等経済学院●
ペンザ国立大学
N.I.グロデコフ名称ハバロフスク地方考古博物館

## インド *India*
インド科学大学院大学

## マレーシア *Malaysia*
アジアパシフィックテクノロジー&イノベーション大学●
マラヤ大学●
マレーシア工科大学
UCSI大学●
マラ工科大学機械工学部
マレーシア科学大学
ブトラマレーシア大学

## カンボジア *Cambodia*
カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立プノンペン大学

## インドネシア *Indonesia*
サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学
ビーナス大学
アトマジャヤジョグジャカルタ大学

## ネパール *Nepal*
トリブバン大学

## ウズベキスタン *Uzbekistan*
タシケント国立東洋学大学●
サマルカンド国立大学

## モンゴル *Mongolia*
モンゴル国立大学

## フィリピン *Philippines*
南フィリピン大学●

## タイ *Thailand*
タマサート大学●
チュラロンコン大学●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学
プリンス・ソンクラ大学
チェンマイ大学

## ラオス *Laos*
ラオス国立大学

## オーストラリア *Australia*
シドニー大学●
グリフィス大学
アデレード大学●●
モナシュ大学●
ボンド大学●●
オーストラリア・カソリック大学●

## 中国 *China*
北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学●●
中国国家外国専家局
上海交通大学
北京師範大学●
北京外国語大学
北京日本学研究センター
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学
四川外国語大学
中央民族大学●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
龍門石窟研究院
天津外国語大学
北京語言大学●
対外経済貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
少林寺
復旦大学文物興博物館学系
西北工業大学
華南理工大学
模範的ソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学
天津大学
西安科技大学
大連工業大学
遼寧科技大学

## 香港 *Hong Kong*
香港公開大学

## ニュージーランド *New Zealand*
マッセイ大学●
オークランド大学●
オタゴ・ポリテクニック

## 台湾 *Taiwan*
國立中山大学●
淡江大学●●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大学
國立雲林科技大学
國立高雄師範大学
實践大学
國立台湾師範大学●
國立政治大学●
元智大学●
輔仁大学
國立高雄大学
國立暨南国際大学
中信金融管理学院
國立中央大学
國立勤益科技大学

## 韓国 *Korea*
延世大学●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学●
聖公会大学社会史研究所
嘉泉大学
ソウル大学経営学部●
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学●
仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学●●
誠信女子大学
韓国外国語大学●
中央大学
建国大学●●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学

## ベトナム *Vietnam*
ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学
FPT大学
ベトナム国家大学ハノイ外国語大学
ダナン大学
フエ科学大学
貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ経済経営大学
ホーチミン市建築大学
ホーチミン市工業大学（HUTECH）
ホーチミン市経済大学
ベトナム国家大学ホーチミン市科学大学
ベトナム国家大学ハノイ工科大学
ハノイ工科大学
ハノイ大学
ベトナム国家大学ホーチミン市情報技術大学
カントー大学
フンイエン技術師範大学
ハイフォン大学
ホーチミン市工業大学（IUH）
日越大学

## カナダ *Canada*
ブリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学●
トロント大学●
ブロック大学●
ヨーク大学●
トレント大学●
プリンスエドワードアイランド大学●
ヴィクトリア大学●
BCI学生交換プログラム（ケベック）●

## アメリカ合衆国 *U.S.A.*
トルーマン州立大学●
ベイラー大学●
カリフォルニア大学デイヴィス校●●
ミシガン州立大学●
ボストン大学●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校●
カリフォルニア大学サンディエゴ校●
ネバダ大学リノ校●●
ボイシー州立大学●
サンホセ州立大学●
フォントボン大学●
サンディエゴ州立大学●
南カリフォルニア建築大学
ガステイパス・アドルファス大学●
ウェストチェスター大学●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校●
ミネソタ州立大学マンケート校●
メダイル大学
ポートランド州立大学●
ウェストフィールド州立大学●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学●
ニュー・スクール大学
カンザス大学
ウィスコンシン大学リバーフォールズ校

## アルゼンチン *Argentina*
国立ラプラタ大学

## メキシコ *Mexico*
アナウアク大学
グアダラハラ大学●

## バハマ *Bahamas*
バハマ大学